

# そよかぜ 6月園便り

令和4年6月1日(水)

西東京市立そよかぜ保育園

5月は恒例の「鯉つかみ」「鯉さばき」がありました。

はじけるような笑顔や満足げな表情、そして真剣に見つめる眼差しに、子どもたちはこの経験を通して確実に何かを感じているんだと改めて思います。

そよかぜで大切にしている思いについては昨年度の5月の園だよりに記載しています。

ホームページの中の「お知らせ」から園だよりが閲覧できますので、よろしければご覧になってください。

今回は先延ばしにしていたそよかぜで歌っている「歌」についてお話したいと思います。

ここ2年ほどは保育参観や保育参加ができていないので、子どもたちの歌をあまり耳にしていない方も多いかと思いますが、ご家庭で子どもたちが保育園の歌を歌ったりすることはありますか？

大きく分けて、①年間を通して歌っている歌、②季節ごとに歌う歌、③年長の子どもたちが歌う歌があります。

- ① チポリーノの冒険 機関車のうた なかよしのうた そんごくう など
- ② どどめジャム 竹の子 ひまわり ポランの広場 秋のそよ風 笑いんぼコスモス  
たき木とりのうた アイヌ漁獲のうた 冬がきたばい 粉雪こんこ 春 など
- ③ 森は生きているシリーズ スーホの白い馬シリーズ ブルッキーのひつじ など

そよかぜ歴の長い方たちは「あー、あの歌ね」と分かっていたかと思いますが、今年度入園した方にとってはタイトルだけ見ても「??」ではないでしょうか。

これらの歌には以下のような要素が散りばめられています。

- ・「オノマトペ」の表現が随所に使われていて(4月の園だよりに掲載)、情景をイメージしやすくリズム感もあって親しみやすい
- ・元になる物語があり、お話のイメージを膨らませながら、歌の中で自分が友だちと遊んだり、主人公になって冒険したりすることができる
- ・音程がリズムカルに飛躍し、気持ちが引き付けられる
- ・1曲の中に転調があったり、前半と後半でリズムが変わるものもあり、その変化を「面白い」「楽しい」と捉えて自分なりに生き生きと展開することができる

子どもたちは大人の想像を遥かに超えるスピードで歌を覚え、歌の世界で主人公になって思い切り躍動します。ピアノの前奏を聴いただけでワクワクしたり、自然と身体がリズムを取ったりするのは。心と身体で歌の楽しさを感じているのでしょうか。

否定をするつもりはありませんが、例えば「チューリップ」の歌は子どもがその対象に向かって主人公ではなく、傍観者になっていると思いませんか。主人公になれないと歌が子どもにとってつまらないものになってしまうのではないのでしょうか。

そよかぜでは一人一人が主人公になって、歌を楽しんでいきたいと思います！

## クラス通信



清々しい風が心地良い日が続き、園外へ散歩に出掛ける機会を増やしています。初めは**見慣れない景色**と**芝生の感触**に驚いていた子どもたちも、自分でゴザから出て探索するようになってきました。シロツメクサなどの草花や風に吹かれて飛んでいく**シャボン玉**、小さな**アリ**…と、気になるものを見たり触れたり、思い思いに戸外で過ごす時間を楽しんでいますよ。もうすぐ梅雨の時期。外に出る機会が減っても、室内で触れ合い遊びや設定遊びをたくさんして過ごしていきたいと思います。

♪上か下からおおかぜこい、こいこいこい♪と歌いながら大きな布を揺らすと、それを掴もうとつま先立ちで両手を上げ、触る子ども達。その布を♪ちりんぼらんストーン♪とみんなに被せ、布を取りながら“ばーっ！”と声を掛けると、「もういっかい、もういっかい」と布を指差し笑う姿は愛らしいですよ。場所を変えて「ここだよ」と歌いだすと“トコトコトコ…”とやってきて、再び布の下に友達と入って一緒に楽しむようになりました。

また、顔遊びでは“♪だるまさんだるまさんにらめっこしましょ、笑うと負けよあっぷっぷ！♪”両手でほっぺを引っ張ったり、目を上に上げて変顔をし、大人が笑い出すまでアピールしています。真似っこが上手で色んなわらべ歌遊びや、手遊びを繰り返し楽しんでいますよ。

今月は、どろんこ遊びで思いっきり遊んでいきます。



先月、初めて**片栗粉**で遊びました。タライの周りに集まり“なんだろう？”とじっと見ていたすずめ組…まずは**粉**を握ったり、かき混ぜたりと大人と一緒に触ってみました。恐る恐る触るお友達もいますが、白い粉がまきあがるのを楽しみながら、腕や顔についても嬉しそうに笑顔を見せるお友達もいましたよ。粉の感触を楽しんでから、次は少しずつ水を入れていきます。水の量を増やしつつ混ぜていくと、トロトロと液状になり、指の隙間から流れる片栗粉に「見て～！」と大興奮。両手ですくったり、腕に塗ったりとても気持ちよさそうでした。片栗粉だけでなく、**小麦粉**、**砂水**など色々な感触を遊びの中で楽しんでいますよ。

今月は梅雨に入る前にたくさん散歩に出掛け探索を存分に楽しんでいき、追いかけてっこなど体も動かして遊んでいきます。



お天気の良い日にはたくさん散歩に出かけています。探索活動大好きなひばり組。「探検に出かけよう！！」と草花の中を歩いて行くと…。「へびいちごあったよ」「この白い花、**ジャガイモ**じゃない？」「**あじさい**の花小っちゃくてかわいいね」など色々な声が聞こえてきます。散歩中に見かける草花や畑に植えて野菜たちにも興味があるようです。

先月、**ピーマン**と**ミニトマト**の苗を植えました。「あ、トマトが大きくなってる」と毎日成長を心待ちにしていますよ。そして初めての**じゃがいも堀り**も今から楽しみにしているようです。

これから雨に時期に入っていきますが、体調に気を付けながら楽しく体を動かして、遊べる体づくりをしていきます。





お散歩、砂水遊び、縄遊び、鬼ごっこ、毎日たくさん身体を動かして遊んだ5月。お散歩では、時々遠い公園へお出かけ。西原自然公園では、丸太渡りや切り株からのジャンプ。竹林公園では竹の成長を観察し、落合川では早速水遊びをしましたよ。次回の落合川へのお散歩では“どどめ”（桑の実）を摘んで、『どどめジャム』を作ろうと思います。

綱引き遊びでは、子どもたち同士でも白熱した戦いが繰り広げられ、待っているお友達からの応援もすごいのですが、大人対子どもでの綱引きでは待っているお友達の応援が激しく、“大人には絶対負けない”とどんどん参戦してくるので、急に一致団結感がすごい！

5月からグループ活動が始まり、まず、グループの名前や、クラスで育てる夏野菜を決める話し合いを行いました。まだまだ友達同士の話し合いの中で決めていくことが難しい様子も見られますが、小さな集団（グループ）の中で自分の意見を話したり、葛藤しながらも友達の話を聞いて、自分の気持ちと折り合いをつけながら話し合いをするようになってきました。グループ活動をしていく中で、これから“協力して”取り組むことも増え、“グループ対抗リレー”などでも遊んでいきますよ。

また、先月は初めて藤井先生のピアノ演奏を聴いたり、羽村のレクリエーション広場で四園交流を行ったりしました。交流では、リズム、大縄、四園全員で「よーいドン！」とかけっこ。四園の年長が集まり、思い切り身体を動かして汗を流していましたよ。

今月の交流も楽しみです。



## 6月 園行事

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 3日（金）眼科検診         | 13日（月）藤井先生ピアノ鑑賞（年長）  |
| 7日（火）歯科検診         | 21日（火）交流保育（年長）       |
| 8日（水）4.5 オプラネタリウム | 27日（月）じゃがいも掘り（幼児クラス） |
| 9日（木）布団乾燥         | 28日（火）誕生会・避難訓練       |
| 11日（土）親子遊ぼう会      |                      |

～ 土曜日シーツ掛け時間変更のお知らせ ～

8：00 ～ 9：00

15：00 ～ 16：00

宜しくお願い致します。

今日から6月 衣替えです。真夏のような日差しに追いつかない身体。ますます季節感が薄れてしまいきますね。コロナ感染の心配がなくなっているわけではありませんが、状況に合わせたマスクの着用やこまめな水分補給に努めた暑さ対策 しましょうね。

みどり保育園では久しぶりに親子遊ぼう会をしました。

トラックから降ろされた山積みの砂。 フッカフカで気持ちいいー

子ども達は運びます。よいしょ よいしょ お父さんたちも一緒に よいしょ よいしょ  
砂場まで よいしょ よいしょ 大きなお山になりました。今度は お水を運んで。

泥んこ遊びを満喫！！

ホールでは 親子に分かれてリズム遊び お母さんたちは初めてのリズム体験です。

子どもがお手本になり、金魚やワニ お馬。見守られている喜びが伝わっていつもより数段上手。感動の拍手がわきます。一方 お母さん達 簡単そうに見えるのですが、思うように動かない足腰・手指。子どもたちの応援の声。日頃の疲れが取れますようにと願いながら、楽しいひと時を過ごしました。お部屋では巧技台を組み、簡易アスレティック会場 登ったり・下りたり、跳んだり、ぶら下がったり、掴んだり、しゃがんでくぐる。高い所から両足を揃えてジャンプ！

慎重に足を進めて、周りに注意を払いながらでこぼこ道を進みます。「やったー」

こぼれる笑みは自信の証。

親子ふれあい遊び 大人の手をしっかり握り、身体をよじ登り、前回り 後ろ回り

そのまま肩まで登って「たかーい！」大人の体が遊具になり、ふれ合い。肌のぬくもりが心地よく、もう一回 もう一回。

程よい所で おなじみ ニンジンスティックと大根煮を試食。「上品な味 高級料亭で出てきそう」と誰かのつぶやく声。

我が子の育ちを見るだけでなく、お友達と育ちあう姿。夢中に過ごすうちに出来た！感動の瞬間等々

仲間がいるから育ちあう。やっぱり いいなー この感じ。 お母さんたちは筋肉痛大丈夫かな？

職員のつぶやき

### しらうめ保育園ってどんな園だろう？

私は別の保育園で3年の保育経験を経て、今年度からこのしらうめ保育園の職員としての日々が始まりました。新しい生活、新しい保育園、新しい先輩など新しいことづくしの毎日です。日々学ぶことの多い生活ですが、様々な人たちに支えられてなんとか過ごすことができいております。私がしらうめ保育園にきて最初に感じたことは、子どもたちの逞しさです。転んでも自分で起き上がろうとする、荷物を自分でしまおうとする、友達とのケンカもすぐには保育士を頼らず、まずは自分で解決しようとするなど様々な驚きがありました。まさに“生き抜く力”が育っていました。最初は何故なのかわからず過ごしていましたが、5月を過ぎ、ようやく少しずつ分かってきたような気がしています。私もしらうめの職員として早く一人前になり、共に子どもたちの成長に関わっていきたくと強く思う今日この頃です。

羽村しらうめ保育園 青木 稜太